

4月 モニターレポート		担当出張所	桂川出張所
担当区間	桂川中流両岸 羽束師橋～府道142号桂大橋（左右岸5.4～12.2km）		
モニター実施日時	令和2年4月6日（月） 10時20分～12時20分		
天 候	晴れ		
<p>(見出し)</p> <p>今月は、久我橋（右岸）から羽束師橋までを下流に向かって、高水敷、堤防を交互に歩きました。河川の様子、河川敷の様子、ゴミの不法投棄などについて報告します。</p>			
<p>(内容)</p> <p>久我橋右岸を下流に向かって、歩き始めましたが、橋の下には、ゴミが散見されました。1号井堰の流れは速く、野鳥も多く、土手には、黄色い菜の花が咲き誇り、桂川の水の音と共に、春の息吹が感じられ、清々しい気持ちになりました。京都府と京都府久我橋西多目的広場運営委員会の看板が有りましたが、新型コロナの影響で、人出は見受けられず、閑散としていました。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>			
<p>さらに下流に向かうと、鉄塔が有りましたが、何に使われているものかは、分かりませんでした。又、その脇の堤防道路には、所々に、陥没や割れ目が見受けられ、小石等で補強されていました。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>			
<p>ここから、高水敷から竹藪の為に堤防に上がり、三川合流点から7.0kmの石柱を見ながら、土手を進みました。畑には、それぞれ整然と作物が作られ、その周辺も春らしさを感じました。</p>			



竹藪下流には、入ってはいけませんの表示とロープが張られており、河川敷には下りられないようになっていました。又、6.6kmの道標の下の、河川敷に焼き火の跡がありました。



河川敷と土手との間のネットが垂れ下がっており、支柱のみになっていました。水流が少なく、川の中程まで近づく事が出来て、中洲の様子もよく見る事が出来ましたが、護岸がえぐられている所もあり、こちら側の川岸にも、水流の影響か、溝が出来ている箇所が、数ヶ所見受けられました。



羽束師橋に近づくと、対岸に水門を見る事が出来ました。又、鷺が川の中ではなく、高水敷に上っているのを初めて見る事が出来ました。



羽束師橋の巨大な立体橋を見ると、人の力を感じました。大阪湾まで42.3kmの看板の下には、花火の跡やタイヤのそばには、ゴミが積み重ねられていました。更に、橋の途中の看板には、落書きも見られました。



(意見・感想・処置等)

レポートありがとうございます。

晴れた日に春の息吹を感じられながらのモニター観察していただきありがとうございます。ただ、ゴミの不法投棄、たき火跡と心ない方たちの不法行為があるのが残念です。

途中、見られました鉄塔は、河川管理用CCTVです。河川管理用CCTVは、日々、河川の状況等をカメラにて監視しております。一部のカメラ画像は、ライブカメラとして防災情報用に事務所HPにて一般に公開されているライブカメラもありますが、見て頂いた鉄塔のカメラは非公開として運用しています。

支柱のみとなってしまうネットは、おそらく以前の河道掘削工事等において工事車両の運搬経路として使われたところに立入り防止の為に張られたもので、次の工事でも使われるだろう箇所に存置させてもらっている物と思われます。新たな工事が始まりましたらネットを再度きちんと張り直して安全管理に努めたいと思います。

新型コロナウイルス拡散防止のため、様々なことで大変な状況とは思いますが、来月のモニターレポートもよろしく願います。